

V 外来

看護師数

看護師長2名、副看護師長3名、看護師19名

業務内容

<緩和ケア>

- ・患者の患者のQOL維持・向上に向けて患者や家族と共にケアを考える
- ・主治医や病棟や外来看護師、他職種、地域の訪問看護師等と連携
- ・がん看護外来にて病状説明支援・意思決定支援、心理的負担軽減のためのカウンセリングなど

<がん相談>

- ・がんに関する様々な相談対応
- ・がん地域連携クリニカルパス、がん患者サロン・おしゃべり会の企画・運営など
- ・小児治療の一般的な情報提供、病状との向き合い方、教育支援・連携、小児がん治療後の長期フォローアップ、成長発達に関すること、きょうだいに関することなど

<入退院支援>

- ・入院予定患者の情報収集、病棟との退院支援カンファレンス、地域の医療機関・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所等との連携、患者家族の意思決定支援、在宅移行支援、転院・施設入所調整など

<緩和ケア>

- ・患者・家族が抱える苦痛をTotal Pain（全人的苦痛）の観点で評価し、治療や療養に関する悩みや意向、問題点を整理しどのような介入がQOLに繋がるのか、医療者間で協働し支援を行っています。
- ・苦痛症状が最小限になるよう症状アセスメントを行い、日常生活の工夫や指導を行います。
- ・病状説明・意思決定支援を行い、患者が納得した医療や療養を選択できるように支援します。

<成人がん相談>

- ・がん治療や療養について、希望や不安を傾聴し、正しい情報提供を行い意思決定支援をしています。
- ・がん治療・検査・副作用、医療費や就業などがんに係わるあらゆる相談に、院内外が多職種と連携・協働しながら、患者・家族が安心して治療・療養できるようサポートしています。

<小児がん相談>

- ・治療を受ける子どもと家族が抱える苦悩や問題に寄り添いながら一緒に考え、安心して治療に臨めるように多職種と連携・協働しながらサポートを行っています。
- ・小児がん治療後の学校・社会・日常生活、晩期合併症などに対応するために長期フォローアップ外来を行っています。

<入退院支援>

- ・入院を予定している患者が安心して入院生活が送れるように、入院中の検査・治療の説明、入院生活に関するオリエンテーション、内服薬の確認等を入院前に実施しています。
- ・入院された患者が安心して早期に住み慣れた地域での生活が継続できるよう、院内外が多職種と協働しながら入院前から退院後まで切れ目のない支援を行っています。

看護の特徴

